

特定非営利活動法人ウッディチキン さま

拝啓

時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは「フィリピン、貧しい母子のための診療所・アエタ族の女性たちの自立を支援する美容師育成事業“絆サロンの運営”」の活動について、ご厚情を賜りまして厚くお礼申し上げます。さて、この度は貴重なご浄財をいただきまして誠にありがとうございます。

大変遅くなりましたが、領収書とお礼状をお送り致します。

現在、フィリピンはコロナ新型コロナウイルスの防疫のため世界最長のロックダウン（都市封鎖・国境閉鎖）を行っています。これを書いている12月の時点で300日にもう数日という長期に及び、解除の兆しどころか、さらに規制強化をする話も聞こえてくるような状態です。フィリピンは、当初よりコロナ防疫については戦争状態であると宣言し、国軍と警察に強大な力を与え、自国民に武器を向けるような異常な政策を推し進めています。日本では考えられないような厳しい制限と罰則、監視にさらされています。そんな中、我々の行動も活動も著しく制限される中、現場に残り、医療から最も遠くにいる貧困層へ、教育の機会を手にてできていない児童たちのために、貧困にあえぐ人々のために、皆様の支援の手が届くような活動を続けていきます。どうぞ、今後もお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

日本ではこれからも寒い日々が続きますが、くれぐれも御身ご自愛ください。まずは略儀ながら書面にてご挨拶申し上げます。

敬具

特定非営利活動法人 NEKKO

富田 一也